

メイキャップ状況

4月13日(月) 和歌山北R.C. 赤井 雅哉、嶋 弘伸、田中 完児、寺下 浩彰、古屋 光英  
 4月13日(月) 地区大会記念ゴルフ大会 内畑 瑛造、岡野 年秀、糟谷 元春、笹島 良雄、  
 島 公造、玉置 博康、前田 成蔵、松田 洪毅

ココロココロ箱

山東 勝彦さん 第3回IDM終了致しました。班長、副班長  
 ご苦労おかけ致しました。  
 村田 昌之さん 亀田会員本日はよろしくお願ひします。  
 玉置 博康さん 県高野連出席手当です。  
 中江 遵義さん 阪神がんばれ〜。余裕のG党より。  
 岡野 年秀さん 阪神が無事に済みました。参加有難うござ  
 います。  
 谷口 文利さん 亀田さん、本日卓話楽しみにしています。  
 山本 進三さん 亀田さん、卓話よろしくお願ひします。楽  
 しみにしております。  
 笹島 良雄さん 亀田さん卓話して頂き感謝致します。  
 岸裏 廣澄さん 昨日の和歌山県青年僧の会講演会、無事  
 終了いたしました。  
 岸裏 廣澄さん IDM1班にご出席頂きました皆様ご苦労  
 様でした。  
 亀田 直紀さん 本日はよろしくお願ひします。  
 角谷 芳伸さん 亀田さん楽しい卓話をお願いします。  
 武田 慎介さん 亀田さん本日の卓話、寝ないで聞いてい  
 ますのでがんばって下さい。  
 武田 慎介さん 先日のIDM欠席して申し訳ありません。  
 吉田 篤生さん 亀田君の卓話楽しみです。  
 八幡 建二さん 亀田君ご苦労さま。  
 前田 成蔵さん 亀田さん本日の卓話よろしく。  
 榎畑 友洋さん 亀田さんの卓話が楽しみです。

【お誕生日お祝い】  
 山東 勝彦さん 68才になりました。今後ともよろしく。  
 中野 久生さん 67才になります。ますます元気になりつつ  
 あります。  
 古屋 光英さん 今後ともよろしくお願ひします。  
 中山 恒夫さん 26日に62才になります。  
 嶋 弘伸さん 今後ともよろしくお願ひします。  
 瀧川 嘉彦さん 今年で45才になります。肉体はおとろえて  
 きましたが、精神力でがんばります。  
 榎畑 友洋さん 昨年この日から禁煙を始め、1年になり  
 ました。  
 健康に気を付けていつまでも若々しくいき  
 たいと思います。  
 上中 崇司さん これからもよろしくお願ひします。



おめでとうございます!

【本日の累計 126,000円(計23名 26件)(お誕生日お祝い 679,000円 皆出席 180,000円 その他 2,367,641円) 累計額 3,226,641円】

本日の例会 4月23日(木)

- 卓話 当クラブ会員 榎畑 友洋さん
- ピアノ演奏 中井 利枝さん  
 スペインの雨(マイ・フェア・レディより)  
 踊りあかして(マイ・フェア・レディより)

次回の例会 4月30日(木)

- 卓話 当クラブ会員 瀧川 嘉彦さん

前回の例会 4月16日(木)

- 卓話 当クラブ会員 亀田 直紀さん
- ロータリーソング 島 公造 ソング委員長  
 「それでこそロータリー」
- ビジター紹介 上中 崇司 親睦委員  
 和歌山R.C. 海瀬 亀太郎さん
- 出席報告 島 公造 出席委員長  
 会員数53名(内出席規定適用免除会員9名)

4月16日(本 日)	38名	86.4%
4月2日(メイキャップ後)	43名	97.7%

市内ロータリークラブ情報	クラブ	日 時	内 容
	和歌山城南R.C.	4月23日(木)	リラックス例会
	和歌山南R.C.	4月24日(金)	「48周年を振り返って」赤井 由賀里さんインタビュー
	和歌山中R.C.	4月24日(金)	DEBATE「女性会員の入会について」
	和歌山北R.C.	4月27日(月)	クラブフォーラム「雑誌月間にちなんで」
	和歌山アゼリアR.C.	4月27日(月)	会員卓話
	和歌山R.C.	4月28日(火)	休会
	和歌山西R.C.	4月29日(水)	祝日休会
	和歌山東南R.C.	4月29日(水)	祝日休会

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845  
 創立/1959年2月23日 会報・広報委員会 嶋 弘伸 古屋 光英 笹島 良雄 武田 慎介 吉田 篤生



2008~2009年度 国際ロータリーのテーマ

「夢をかたちに」~Make Dreams Real~

2008~2009年度 和歌山東ロータリーのテーマ

「ロータリーの魅力再発見」

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL: http://www.werc.jp  
 E-mail: info@werc.jp

2009年 4月23日(木) 週報 / VOL.50 No.39(通巻2402)



会長報告

八幡 建二 会長



皆さん こんにちは。和歌山城の桜も咲いたなどと思ったらあっという間に葉桜になっておりまして、非常に桜の命は短いなどつくづく感じます。私は桜の咲いているときより散り際が一番好きで、その光景を見ると二つ思い出すことがあります。一つは誰が作った詩か、

散る桜、残る桜も散る桜

それと昔はよく忠臣蔵を見ましたもので、浅野内匠頭の切腹するときの辞世の句、

風さそう花よりもなお我はまた春の名残をいかにとやせん

切腹する間にうたったものだと思いますが、この二つが昔から好きで今でも思い出しております。

先日RI会長の李東建さんから和歌山東ロータリークラブの皆様へということで、50周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。と、お祝いの手紙を頂いておりますので回覧いたします。

また、ロータリーの行事といたしましては先週の土曜日、和歌山北ロータリークラブさんが30周年を迎えられましたので、幹事の前田さんと二人で行ってまいりました。

今夜は我々の50周年の打ち上げということで東急インでございます。ご参加の方はよろしくお願いいたします。

今週の土曜日は家族旅行ということで京都に一泊旅行です。こちらもご参加の方はよろしくお願いいたします。朝は7時発ですが、ゴルフのスタート時間がありますので、遅れないようにお願いします。先週、先々週と渋滞情報を聞いておりましたが、10時くらいまでは混まないようでしたので大丈夫とは思いますが、ご協力よろしくお願いいたします。

それと、来週の土日は地区大会が堺のリーガロイヤルホテルでございます。特に皆様方には日曜日の本会議と夜間の懇親会をお願いしております。行事が目白押しですが、どうかご協力よろしくお願いいたします。

私もあと約2ヶ月でお役御免になります。最後の最後までご協力をお願いいたしまして、会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

前田 成蔵 幹事



- ・米山記念奨学会から功労クラブ表彰がございました。
- ・JCニュース 4月度例会のご案内 ..... 回覧
- ・ロータリー世界平和フェロシップ募集のご案内  
 条件: 地元単科大学や総合大学の国際研究学部、政治学部、平和学部の卒業生  
 人権災害救護、救援物資配給、環境保護、難民問題、調停仲裁に関する非政府団体 (NGO)  
 国際機関や国際的企業に勤めておられる方。  
 政府、省庁、外交団、地元警察や軍隊の方  
 平和部隊、ボランティア帰国者



## 委員会報告

## 親睦委員会

野上 泰造 委員長



先ほど会長からも報告がございましたが、土曜日出発の京都家族旅行ですが7時に元あぜくら前出発です。駐車場は確保しておりませんので、ゴルフの方は重いですがよろしく願いいたします。

## 卓話

亀田 直紀 会員



いまさらながらですが、自己紹介のようなお話をさせていただこうと思います。実は先日、会員の田中完児君に、私の仕事の内容について説明する機会がありました。ご存知ないからご説明したのですが、

あまりにも意外なお顔をされたので、「これはいかん。もっと営業せよ」と思い、卓話という貴重な時間ではありますが、自己紹介と称した営業活動をさせていただこうと思います。

私は、昭和41年8月24日生まれです。干支でいえば丙午、皇紀でいえば2626年、西暦でいえば1966年です。この年は、ビートルズが東京の武道館にやってきた年です。2年前、64年の東京オリンピックは当然のことながら知りません。4歳の時の大阪万博は非常にかすかな記憶の中にあります。ここにいらっしゃる方の何割かは、これらの日本の大イベントをリアルタイムで体験されていると思いますが、私は、その興奮を知りません。逆に言えば、私が生まれた時には、既に日本のGNPは世界第2位で(当時はGDPではなくGNPで表していたと思います。)もはや戦後ではないと宣言されてから10年もたった後でした。

高校までを和歌山で過ごし、京都で一年間の浪人生活を送り、大学に入って千葉でくらすことになりました。86年の春のことです。時はバブル時代の入り口で三菱地所がロックフェラーセンタービルを買ったり、「東京1つでアメリカ全土を3回買える」とかいわれた時代ですから、私も浮かれた学生生活を謳歌しましたし、エズラヴォーゲルのジャパンアズナンバワンが耳についてしまい、そのせいで今でも日本が一番エライと信じ込んでいます。就職活動も大変ラクチンでした。都心にあって、かっこよく、女にもてる会社を選び、日本交通公社という旅行会社に就職しました。いまでも大学生には人気の会社なのですが、当時は広い門で同期入社は1200人いました。ちょうど県文

大ホール一階全てが新入社員というような入社式でした。当時は東京駅の丸の内口の目の前に本社ビルがありました。鳩山大臣が文句いっている郵便局のちょうど向かいのビルでしたが、入社したとたんに八王子に移転してしまい、どっち向けの思いで配属命令を待ちました。私が入社した年は「ウラ」の年にあたるそうで、大学の近所に配属される年が「オモテ」で出身地に帰されるのが「ウラ」の年です。つまり私は、地元である和歌山支店(当時は公園前にありましたが)に配属となり、はかなくも東京駅でのかっこいいサラリーマンの夢は崩れ去りました。91年の春のことです。前年から湾岸戦争が始まってはいましたが、世の中はまだまだバブルの余韻があり、すぐに会社をやめた人には「第2新卒」という言葉を作ってくれましたし、退職・転職なんでもあり。の時代でしたので、3年ちょっとで、JTBを辞めまして、当時の経済企画庁所管の小さな財団法人で事務員の職を得ることができました。その財団は、高齢化問題に取り組む財団として、年金相談や生きがい、今風にいえばセカンドライフを如何に充実させるかを研究する財団で、アメリカから講師を招聘し、ジェロントロジーという学問を広めていました。ジェロントロジーは加齢学と訳されますが、それによって、たとえば資生堂に高齢者向けの化粧品開発を働きかけたり、JRに運賃掲示板の色を高齢者が見やすい色に変えてもらうなど、65%以上の金融資産を持つといわれる65歳以上の方々に、如何にお金を使ってもらって、経済を活性化させるかというようなことをやっている財団でした。私は単なる事務員でしたから、特に何かを研究するわけでもなく、公務員並の給料をいただき、淡々と事務をこなす日々をおくっていましたが、その後に行行政改革や天下りなどの問題が叫ばれるようになるなか、将来に対するぼんやりとした不安を持ちつつ30歳の台を向かえ、両親からは「落ち着いたらどうだ、相手はおらんのか」となり、結婚と家業を継ぐことを同時に決めて、和歌山に帰ってきました。31歳、97年のことです。

私の青春時代とはこのような時代でした。ちなみに同じ66年生まれでは武田さん、吉田さんがいます。このクラブでは、私の年齢は下から数えて6番目ですが最年少の豊田さんとも3つしかかわりません。若手とよばれる皆さんが私のように軽薄な時を過ごしたとは思いませんが、似た経験はおありじゃないでしょうか。そんな浮ついた時代のあとに、まさか失われた10年がやってきて、デフレなんて高校以来の言葉をきいて、ゼミのクラスメートの就職先が倒産したり、まるごと外資に買われたり、分割されたり、子会社へ出向させられたり、信じられないことが続きましたし、私自身、和歌山という地方都市で零細企業を営むことになるなんて当時は全く考えていませんでした。

さて、和歌山へ帰ってきましたが、高校時代の友人は、そのほとんどが東京で仕事をしています。大学進学を諦めたやつ、中退した連中がこの和歌山に残っていました。私が通った智辯は、当時、偏差値至上主義みたいなどころがありまして、大学しかも有名校を目指さないのは明らかに悪でした。ですから、残っている連中、私のように和歌山へ帰ってきた連中は、なんといいですか、ため息の出るような連中ばかりでした。ところが、和歌山青年会議所へ入会してみると、全然違うんですね。逆の意味でため息の出るような方々が活躍されているんです。私が入会したときの理事長は、先日の50周年記念ゴルフコンペで優勝された初田先輩でした。理事長スピーチをされている初田先輩は、私にはとてもかっこよく映りました。そこでは、みんなが和歌山の人づくり、街づくりに取り組んでいました。そして、私がJCを卒業するころには会員は200名近くなり、全国でも屈指の大規模JCになり、全国組織に対し、多くの人材を輩出して、和歌山が全国組織に影響を持つという時代に入っていました。ここにいらっしゃるメンバーで、櫻畑さんや豊田さんはその全国組織の役員経験者ですし、ほかの方も和歌山での活動で、先頭に立たれたり、中核を担われた方々です。東京でのかっこいいサラリーマンにあこがれ、半ば夢破れて和歌山に帰ってきた私には、東京にある全国組織のなかで和歌山の仲間が全国から集まったJCメンバーに敬意を持って遇され、そしてその全国組織をリードしていく様子は、本当に痛快でした。この時には、「かっこいい東京」に対比される「かっこ悪い和歌山」は私の中にはすでに消えうせていました。このような方々の中で、私は32歳から40歳までを過ごしました。そして、いろんな影響を受けました。ここ和歌山東ロータリーにもそのご縁で山本進三さんのご紹介で入れて頂きました。

そのような、影響を受けたおかげで、今の私があるわけですが、これからは、私が今、関心を持っていて、やって

いることについて申し上げたいと思います。

私は、この和歌山東ロータリークラブのほかに、いくつかの団体に参加しておりますが、この内から趣味、趣味というのは直接仕事に関係のないという意味ですが、その趣味に関するものと仕事に関するものについてお話をさせていただこうと思います。前者としては、和歌山県防衛協会、新しい歴史教科書を作る会、新日本国憲法研究会、日口友好の会という団体に参加しています。たぶん、思想的なものを思わせる名称が並んでいますが、これらの多くは、やはりJC時代に知り合った方々からお誘いを受けたものですが、規模が一番小さくて、その分私自身の役割が大きいのが新日本国憲法研究会です。実際は名前負けしていて、団体というよりグループといったほうがしっくりくるくらい小さな所帯です。ですが、それが結構楽しいんです。その中で、私は日本国憲法第1章天皇に該当する章を担当していて、私なりに勉強しています。ついこのまえに知った事柄も多く、ですから知ったかぶりみたいなものですが、少しお披露目させてください。

天皇とは憲法に記載されているということからも、法律用語なんですね。また、称号でもあります。みなさんご存知のように、古来日本には文字がなかったとされています。一部には「ホツマツタエ」なるオシテ文献の存在を示すものもありますが、まだまだ国民的コンセンサスには及びません。文字がないということは、音つまり話し言葉は存在していたけれどもそれを書き表す術がないということです。ですから、古来、「すめらみこと」とか「すめみまのみこと」と表現されていた言葉にこの「天皇」の字をあてたということです。つまり「天皇」とはいわゆる書き言葉(話し言葉ではない)だということです。このことは、当時からすれば、現在の日本語は中国風に成り果てていますから、普通、漢字が並んでいれば音読みで熟語として読みます。中には、京都にある不明瞭な団体にお金を払ってまで中国風度合いを競い測りたがる人々も多いようですけど。ですから「天皇」も「テンノウ」と読みます。ところが、「すめらみこと」にあてた字は「天皇」だけではなかったらしいのです。今風に音読すると「天子」「陛下」「皇帝」の字を、その使う場合に分けて当てています。このことは701年に定められた大宝律令という法律の儀制令に記載されています。ところが、時代が下って明治、大日本帝国憲法が施行される折、いわゆる旧皇室典範が定められました。ここでも「天皇」は称号であります。が、「陛下」は敬称として定められています。戦争のルールブックともいべき「ハーグ陸戦条約」違反である敗戦時の皇室典範改正を経た今ある皇室典範でさえも、この条文は生き残っています。そう



いう意味では、現在ある官職名などを考えても、官僚が絶大な力を持っているということからも、今なお日本は律令国家なのかもしれません。国家公務員Ⅰ種試験が今日存在することを考えると、明治以降、科挙の制度が追加された分、古代よりは律令国家として完成に近づいたことになるでしょう。残る制度は、易姓革命だけです。ですから皇室を守ることが大切になってきます。このまま易姓革命など認めたら、日本は中国になってしまいます。これは、ギリギリのところまで秋篠宮家に親王殿下が誕生したことで、回避されました。話を「天皇」に戻しますと、中国の昔の文献に魏志倭人伝というのがありまして、そこには邪馬台国や卑弥呼が登場します。その時代から、宋書倭国伝に記載された倭の五王（仁徳天皇などの）時代まで、日本の王様は、中国の皇帝に日本の王だと認めてもらってというか、任官していただいていたのはじめて王様になれました。このことをある学者は、冊封体制と名づけたそうです。ところが、ある日、朝鮮半島情勢が緊張し、日本も勝負しなければならなくなりました。そこで、自分たちの王様は自分たちで決めるとばかりに称号を選んで、担ぎ上げたわけです。名前は、それが称号であれ、尊称であれ、対外的な必要性にせまられた時、始めて有用なものになります。つまり国際情勢のなかで、日本の王様を如何に表現するかを考えると、初めて日本人は天皇を意識するのです。聖徳太子が隋に送った国書の話は有名ですが、そのあと日本は蒙古襲来のときを除き、さほど外国を意識することもなく幕末を迎えます。そして明治です。もう一度、「日出る処の天子、日没する処の天子に書を致す。」的に外国とやりあう必要が出てきたため、伊藤博文や井上毅は、国家元首の呼称を模索します。そして、日本の歴史に対する自尊心から、王より上の位として「テンノウ」をそのまま外国語に表そうとします。私は天皇という称号には自分なりの思い入れと敬愛の念がありますが、君主を示す称号という意味では、王、ツァーリ、ハーン、皇帝、ファラオどれも一緒です。天皇から少し離れますが、名前といますか、呼称の風習に、もうひとつ、完全には、日本だけということではありませんが、実名敬避俗という習慣・文化が日本にはあります。私は、言霊信仰の表れだと考えているんですが、その人の名前を直接は呼びません。例えば、私は、八幡さんとは呼ばずに、会長と呼びますし、皆様の会社でも、自分のことを社員から名前と呼ぶせることはあまりしないでしょう。この辺は、儒教的なエッセンスも含まれてきますから、東アジアに広く見える現象ですが、特に、天皇に限れば、日本国憲法の冒頭にも、ご存知「御名御璽」と記載され、原本とは違う印刷がされています。ところが、最近はこの風習も変化してきて、皇后陛下を「美智子さん」と

か皇太子妃殿下を「雅子さん」とか呼びます。もちろん法律で決められた「殿下」の敬称も使っていません。自分の会社でフラットな関係を目指し、ピラミッド型が嫌いだからと、肩書きで呼び合うのを禁止するくらいならアメリカかぶれの「自分勝手」で済みますが、天下の大新聞が法律に定められた敬称を使わないことは、許されるべきことではありません。モンスターペアレントの出現や老人を狙った振り込めサギなどの現代社会の病的な現象は、こういった、マスコミをはじめとする進歩派文化人と称する者たちの日本文化への挑戦の結果で、師弟関係の崩壊、長幼の秩序崩壊による年配者への敵意となって現れてきていると考えています。ちなみに、皇太子妃の順番を逆にたどれば、「雅子さん」「美智子さん」ですが、その前の香淳皇后陛下を「何々さん」と表現したことが、おありでしょうか。昭和の皇后陛下である香淳皇后のお名前を知らない方もいらっっしゃいますよね。そうなんです。知らなくて良いんです。でも、雅子さん美智子さんは知っている。香淳皇后のお名前を知らなくて当然の方の割合が多ければ、多いほど、日本の伝統は急速に変化しているということだと思います。当時、朝日新聞ですら香淳皇后をさして「良子さん」とは書きませんでした。このように、われわれのグループの基本姿勢は井上毅らが当時得た考え方、いわゆる歴史法学に基づいて憲法を考えようとする立場です。ですから、伝統についていろいろ考えます。大日本帝国憲法起草時、その井上毅がこだわった「しらす」という言葉は、正文では、あえなく、漢字で「統治」と訳されてしまいました。日本の歴史や文化に無知な連中に対して説明しなければならなかった時代でしたから、半分はあきらめつつ、きっと翻訳しやすい言葉をえらんだのではないかと考えます。今なら、世界のトヨタが「KAIZEN」という言葉を、日本の官僚が「NEMAWASHI」という言葉を世界共通語にしましたが、あの時がかんばってあくまで「しらす」でいくべきだったと思うのです。このメンタリティーをして小学生に英語を教えるなどという亡国の教育が今、なされようとしています。「根回し」はともかくトヨタ自動車の「改善」を見習うべきです。良いものさえ持っていれば、向こうが勝手に勉強して取り入れます。さて、私が理解しているその「しらす」の意味ですが、領有や制覇、征服ではなく、国家の安寧を祈り、精神的な支柱として尊敬を集め、価値の源泉となるという風に理解しています。この辺が、ヨーロッパの領主的な君主と決定的に違うところです。皇室典範改正の有識者会議なんかを仮想敵に論戦を挑んだ本をいつかは出版したいと、仲間内では目論んでいます。その節は是非、お買い上げお願いいたします。これが私の趣味の一部です。

次に、仕事です。ここから営業させていただきます。趣味と実益を兼ねてという言葉がありますが、わたしは、これを目指したいと願っております。先ほどまで、申し上げましたように、趣味で、日本の伝統に関する考察をしておりますので、自分の商売にも、必然的にその影響を受けてしまい、願わくは、商売を通じて国に報いたいと心底考えています。ロータリーで職業奉仕を勉強してこの思いはいつそう強くなりました。私は、両親が始めた包装資材屋を営んでいます。簡単に袋屋、容器屋ということが多いのですが、これが結構、社会の変化が大波のように押し寄せる業種で、代表になって4年目ですが、苦勞しています。主なお取引先は、お菓子関連の事業所で、和歌山県菓子工業組合に属しています。また私が参加しているのは、和歌山県食品衛生協会という団体の食品衛生指導員部会という組織です。簡単に言えば、食品衛生法を守りましょうという運動で、保健所の岡っ引きみたいな役割だと感じています。ですから、これだけでは物足りないので、HACCP指導者という肩書きを手に入れました。HACCPとは、アメリカのNASAで開発された食品安全の管理方法で、スペースシャトルで食中毒を起こすわけにはいかないというような動機から研究されました。日本でも厚生労働省がその一部を導入し、全国のいくつかの食品工場で採用されています。決められたとおりに製造すれば、その途中でミスが発生し不良品や規格外品ができてしまったとしても、少なくとも、その危害の恐れのある食品が市場へ出る前に処分できますが、中国製の毒入りギョーザを笑えない案件が、日本でも多発しています。以前、クラブフォーラムでも申し上げましたが、私の場合、お天道様に顔向けができるか、女房子どもに自慢できるかが事の善悪判断基準です。職業奉仕を勉強しなくても「うそは泥棒の始まり」であることは小学生でも知っていますが、さあ、果たして赤い餅屋や白いクッキー屋はロータリアンだったのでしょうか?このバッジの値打ちはそういうことで決まると思います。話を衛生に戻しまして、そんな食品衛生に対する思いから、これまでのお取引先様に限らず、衛生マニュアルの作成や、講習会の実施など袋、容器の販売に限らず取り組んでいます。一応、ARIBという基準や、食品衛生法にも容器包装に求められる事柄の記載はあるんですが、多くの事業所で、中身に注力するあまり、基準に満たない容器包装の使い方をしているケースもあります。例えば無菌室で作った食品を、例えばハエやカが飛び回る東南アジアの工場で作った袋に入れて販売するなんてナンセンスだと思いませんか? またアレルギー表示の場合を除き、直接の危害というわけではありませんが、日本農林規格法いわゆるJAS法で決められている表示義務を履行していない食品

もありますので、皆様も食べ物を選ばれる時には、よく吟味してみたいと思います。ちなみに私は、外食するとき、そこで使われている割箸を良く見ます。まあ、割箸は環境に良くないという話もありますので、割箸を販売する傍ら、先ほどの伝統の話ではありませんが、隣の岩出に根来塗りという漆器発祥の地がありますので、地元の伝統工芸品として細々と取り扱いをさせていただいております。もうひとつ、環境といえば、先日、和歌山県が主導してスーパーのレジ袋の有料化が実施されました。他県の例を見ると、3年でマーケットの95%が消滅します。これが今、私の最大の懸案事項でして、ある商品の売上げが、3年以内にほとんどなくなってしまうということですから、あわてて、別の商品で売上げを立てるべくがんばっています。本日、このテーマを選ぶきっかけになった田中完児君との話もこのことから始まり、エコバッグをお買い上げいただいたことで思い立ちました。皆様も、エコバッグをおつくりの際は、是非、私にチャンスをいただきたいと思います。もともと袋屋というのは、大量生産大量消費によって潤う業種ですから、あまりエコが進むと、ご飯の食い上げになってしまいます。で、逆に私のところには、新しいエコ商品、割箸の代わりに塗り箸、レジ袋の代わりにエコバッグ、蛍光灯にかわるLEDの販売権の話がきます。このエコブーム、榎畑さんの前回の卓話でもありましたが、日本の山には間伐が必要な材木がたくさんあります。国内流通の割箸の90%が中国産で、奈良県五條市の割箸産産を壊滅に追い込んだため、国産の割箸に値が付かず、ひいては間伐が進みません。そして国土が荒れるのです。これってエコでしょうか? 私は薄っぺらいブーム、非科学的な妄信だと思っています。その中国産の割箸は、金魚蜂に一晩つけておくと金魚が全滅するといわれた時代もありました。だって不自然に白かったんです。だからといって国産すべてが正直で安全なものではないのが残念です。割箸の安全保障論は大げさすぎですが、地産地消の観点でも、われわれは、もっともっと真実にせまる必要があります。袋屋ごときにしてそうですから、皆様の職業ではなおさらではないでしょうか。私自身の問題に話を戻しますが、県の施策によるマーケット喪失という目の前の難題をやっつけないと、この例会に出てくる権利すらなくしてしまいますので、応援をお願いさせていただいて、私の営業を終わらせていただきます。袋屋のセールストークに最後までお付き合いいただき感謝いたします。ありがとうございました。